

地域づくり通信

第11号
平成24年3月

課題解決において

瀬谷区地域運営補助金を活用しています！！

平成23年度より『瀬谷区地域運営補助事業』がはじまりました。

これは、自治会町内会を含む連携した団体が、課題を解決するために、主体的・継続的に行う取組について必要な費用を補助する制度です。

今年度は、3団体が補助金を活用して、見守り活動や防災活動、広報紙の発行などの取組を行っています！

それでは、各団体が補助金をどのように活用しているか見ていきましょう！！

細谷戸ビーハイブ実施委員会

さりげない見守り・そっと声
かけ・助けあう地域を！

南瀬谷地区地域福祉
保健計画推進協議会

だれにでも見やすく
わかりやすい広報紙を！

瀬谷第二地区高齢者・障害者
の防災と福祉の実行委員会

心豊かに暮らせるまちづくり
を目指して！

中面で各団体の
活動紹介をするよ



せやまる



瀬谷区地域運営補助事業対象団体の活動紹介！！



細谷戸ピーハイブ実施委員会

「もしも…」に備え、「安心キット」を配布！

安心キットとは、高齢者や障害者等の安全・安心を確保するため、かかりつけ医や持病などの医療情報、緊急連絡先などを記入した「救急情報カード」を専用容器に入れ自宅の冷蔵庫に保管するものです。もしもの時は、救急隊員が玄関扉のラベルを見て、安心キットが冷蔵庫に保管してあることが分かり、中のカードをみることで情報を確かかつ迅速に把握し、スムーズな対応が図ることができるようになります。

配布対象者は、70歳以上の一人暮らし高齢者や身障者世帯などです。



安心キット

あわせて、見守り希望者の届出を受け付けています！

「見守りの取組」に関する研修会を開催！



研修会の様子

実践女子短大園田先生から高齢者の見守りの取組について、日野市の事例などの話を聴き大変勉強になりました。また、地域の多くの方にも参加していただき「活動のすそ野の拡充」も図りました。

活動の心構えは「あいうえお」！
あかるく・い(よ)いかげんに・うれしい
えがお・おもしろく

南瀬谷地区地域福祉保健計画推進協議会

『みなみせや情報通信』3月第2号発行！



みなみせや情報通信第2号

南瀬谷地区地域福祉保健計画推進協議会は、3月下旬に『みなみせや情報通信』第2号を発行します。

創刊号では、地域の変遷や活動の紹介など、地域の情報をまとめてわかりやすくお伝えしたことで、皆様から好評を得ました。

第2号では、「知ってますか？南瀬谷」のシリーズ第2回目として、南瀬谷小学校コミュニティスクールの紹介や年間を通しての地域活動の紹介します。さらに、創刊号は4面でしたが、新たに2面を追加して、南瀬谷地区地域福祉保健計画の内容や地域の取組を掲載します。

今後も継続して、『みなみせや情報通信』を発行し、地域の情報をわかりやすく提供していきます。



編集会議の様子

瀬谷第二地区 高齢者・障害者の防災と福祉の実行委員会

高齢者と障害者に防災グッズ等を配布！



瀬谷第二地区高齢者・障害者の防災と福祉の実行委員会では、高齢者・障害者の見守り事業活動の推進のため、75歳以上の一人暮らしの方と障害者の方に防災グッズとふれあいカードを配布します。

防災グッズは、ライトやホイッスルなど災害時に役立つものが入っています。ふれあいカードとは、何かお困りのときの緊急連絡先(自治会長、民生委員、ケアプラザ、区役所など)が記載されているカードのことです。

申込者数は、想定していた人数よりも多く、300名を超え、うち4割は障害者の方々でした。

網代代表は、「これほど障害者の方々

から反響があることに驚いています。なかなか支援することが難しかったので、この活動が、障害者支援の大きな一歩になるのではないかと感じています。引き続き高齢者と障害者の見守り活動を推進していきたい」と意気込んでいます。

「防災ガイドを全戸配布します！」

また、瀬谷第二地区では、第2期地域福祉保健計画の取組の一つに災害対策向上を掲げています。

地震対策はもちろんのこと、昨年のも境川の増水で避難勧告されるような状況があったこともあり、水害対策も盛り込んだ幅広い活用が期待される防災ガイドを全戸配布します。



ふれあいカード



防災ガイド

平成24年度も瀬谷区地域運営補助事業は継続するよ
募集期間は4～6月を予定！



せやまる

- < 防災グッズの中身 >
- ・ポーチ
 - ・軍手
 - ・ライト
 - ・ホイッスル
 - ・アルミシート
 - ・防災のしおり

『家族防災会議』をしよう！

東日本大震災から1年が経ちました。関東地方においても震度5強を観測し、各地で停電が発生したほか、交通機関も停止したことは、みなさんもお存知のとおりです。みなさんの防災意識が高まっている今こそ、家族で防災会議をしてみませんか？

防災で大切なことは日頃の備えです。大地震が発生した時、家族が落ち着いて行動できるように地震対策について話し合い、対応方法を決めておきましょう！

家族との連絡方法を確認する

大地震が発生した時は、固定電話や携帯電話は通じにくくなります。NTTの災害用伝言ダイヤル(171)や携帯各社の災害用伝言板の利用方法を確認しましょう。

また、TwitterやFacebookといったインターネット(SNS)を活用することで安否を確認することも有効です。

家族の役割分担を決めておく

火の始末や電源ブレーカーの遮断、非常持出品の搬出は誰が行うのか。誰が子どもを迎えに行くのか。家族の中に、ひとりで避難するのが困難な人がいる場合は、誰が避難の手助けをするのかなど、家族の役割分担を決めておく必要があります。

家や地域の危険箇所を確認する

家具の転倒防止は減災行動の基本です。家の中で、家具を固定したり、家具の配置など危険な場所がないか確認し、固定や補強方法についても話し合いましょう。

また防災マップなどを活用して、周辺地域の危険箇所を知りましょう。

最寄りの避難場所を確認する

いざという時のために避難場所(いっつき避難場所や地域防災拠点)と避難経路についても、話しあいましょう。

いっつき避難場所...自治会町内会ごとに指定されている一時的な避難場所

最低3日分の備蓄をする

災害発生直後は、食料や日用品の購入が難しくなります。最低でも3日分の水(ひとり9ℓが目安)や食料のほか、日用品の備蓄をするようにしてください。



瀬谷区防災マップ

お問い合わせ先

瀬谷区 区政推進課地域力推進担当

TEL 045(367)5789

FAX 045(365)1170

〒246-0021

横浜市瀬谷区二ツ橋町190番地

発行/平成24年3月

編集後記

今回は、地域運営補助事業の対象となった3団体の活動を紹介しました。あなたの地域の活動のヒントになりましたでしょうか？！

次号は、平成24年度地区支援チームの紹介をする予定です。